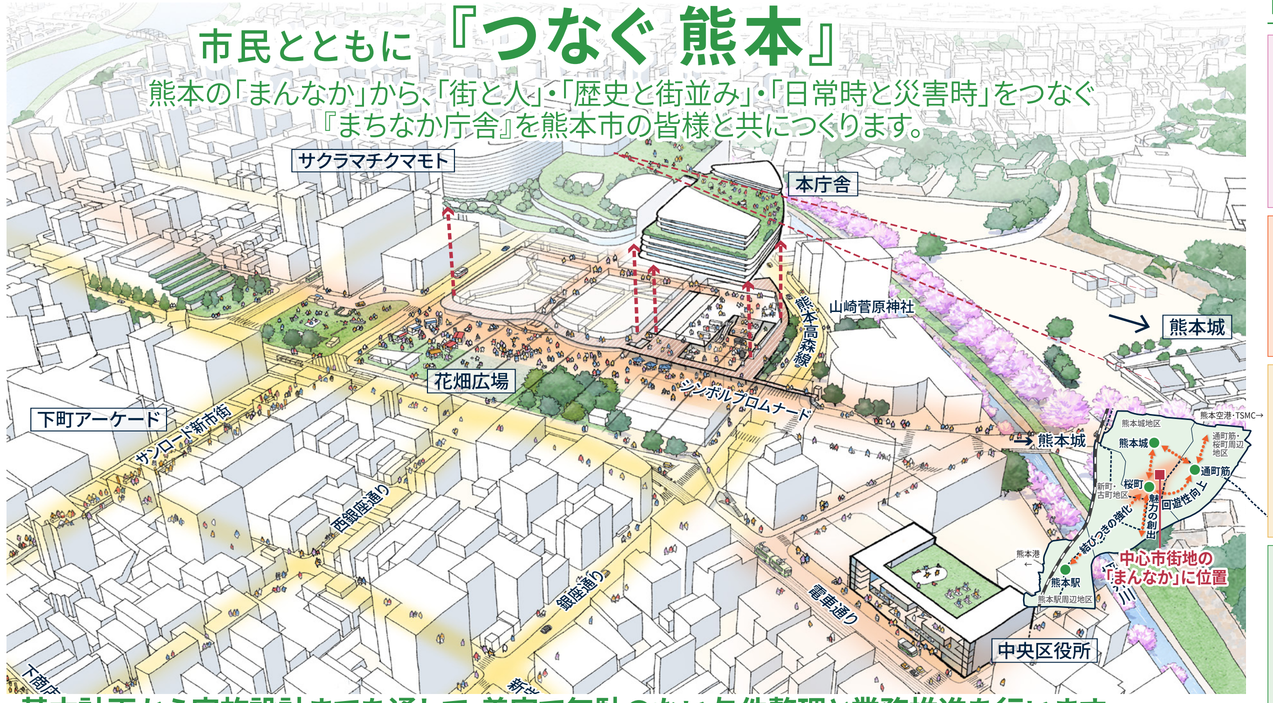
令和7年（2025年）2月20日

資料２

提案書概要版
（契約候補者）

(様式第11−6号)

【テーマ1】 熊本市が目指すべき新庁舎の在り方と実現するための手法等



基本計画から実施設計までを通して、着実で無駄のない与件整理と業務推進を行います。

基本計画で重視する5つの観点

1 **POINT 1 市民・庁内・議会との合意形成**
市民WSで収集した意見を起点に、専門領域毎の分科会で議論し、市民と議会に発信・報告。丁寧な合意形成を重視。

2 **POINT 2 熊本らしい景観づくりと庁舎のイメージづくり**
本庁舎と区役所に共通する熊本らしいデザインを重視。

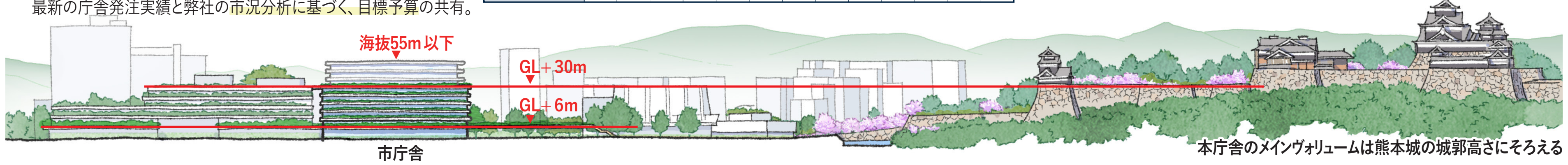
3 **POINT 3 災害の教訓を活かした防災減災対応**
過去の災害を踏まえた防災対策指針を実践する災害対策施設。

4 5 **POINT 4 DXを踏まえた的確な規模・与件整理**
DXを検討する別業務と連携し、適正な執務面積を与件化。

6 **POINT5 市況を踏まえた建設コスト目標の共有**
最新の庁舎発注実績と弊社の市況分析に基づく、目標予算の共有。

市民合意形成と超概算を軸とした与件整理の手法とフロー

	2025年度　基本計画
議会	議会 → 議会 → 資料作成支援 → 議会 → 議会 → 資料作成支援 → 議会
市民合意形成	もしもステッカー「もしも新庁舎が○○だったら」 / 庁舎だより春 / WS① アクティビティ検討 / 庁舎だより夏 / 庁舎だより秋 / WS② 空間・設備・防災機能検討 / 庁舎だより冬 / オープンハウス / デジタルプラットフォーム試行運用
景観検討	景観検討 → 景観検討
規模・与件	目標規模とベース与件整理（目標共有） → 規模決定 → 与件検討① → 与件検討② → 調整 → まとめ（★与件決定）
コスト分科会	超概算① ★ → 超概算② ★ → 超概算③
防災・DX分科会	月1回開催 / 防災WS



本庁舎のメインヴォリュームは熊本城の城郭高さにそろえる

目指すべき『まちなか庁舎』の6つのコンセプト

1 市民が集い、まちのシンボルとなる庁舎
- 市民参画により、市民に愛される『まちなか庁舎』
- 「まちの大広間」である花畑広場と連携した『市役所ひろば』
- 「貸景」の取り組み、熊本城を継承する高さを抑えた緑の景観づくり
- 地場産木材などを活用する熊本らしい庁舎

2 中心市街地の賑わいや回遊を強化する『まちなか庁舎』
- まちに開かれ多様な活動・賑わいを誘発する『市役所ひろば』
- 市街地の回遊性向上する『市役所ひろば』と『区役所テラス』
- 本庁舎と区役所での役割分担と相互連携

3 まちと市民を災害から守る熊本式ノンダウン庁舎
- 日常時と災害時でフレキシブルでフェーズフリーな安心安全の設え
- 免震構造を念頭に置いた、確かな耐震性能
- 重要諸室・機器を上階に設置する災害に強い断面構成
- 桜町・花畑地区との連携によりエリア全体の防災力を向上

4 誰もが使いやすい、市民・職員のための庁舎
- 明快なゾーニングで分かりやすい窓口と働きやすい執務室
- 公共交通とのアクセスビリティを高めたウォーカブルの拠点
- 周辺交通への影響を抑える駐車場計画
- すべての人をやさしく受け入れるインクルーシブデザイン庁舎

5 ニーズに応じて変化するフレキシブルDX庁舎
- 行政ニーズと働き方の変化に対応するワンプレートの大きな庁舎
- 段階的なDX化を踏まえた区民窓口のソフトとハードの最適化
- 将来の機能・規模の変化を受け止める自由度の高いプラン

6 経済性と環境対策を両立する持続可能な庁舎
- 適切な規模・環境性能でLCCを抑えるコンパクトなCN庁舎
- 維持管理・修繕を最適化するDXと長寿命建築でLCCを最小化
- 環境技術で執務効率・快適性を向上する庁舎

『まちなか庁舎』のコンセプトを実現するための基本計画の考え方

本庁舎の考え方

1 6 熊本城ホールから熊本城への眺望確保とサクラマチクマモトの屋上庭園との一体化検討
- 熊本城がよく見える、階高を抑制した建物ボリューム
- 熊本城を望む『芝生広場』と『展望ギャラリー』

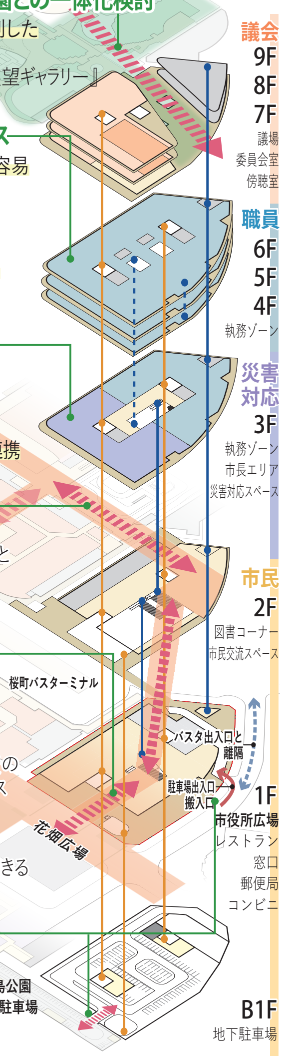
3 4 5 大きな1フロアの執務スペース
- 多様な働き方やレイアウト変更が容易な執務スペース
- 奥行きの深い執務スペースに自然光と風を導く『エコヴォイド』
- 職員のコミュニケーションを活性化する随所に設けた階段

3 災害対策機能を3階に集約
- 災害対策の本部や災害対策スペースを集約化
- 直下階の『市役所ひろば』(災害支援スペース)との円滑な連携

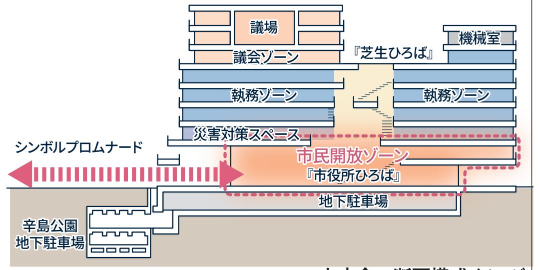
2 3 4 バスターミナルとつながる回遊動線
- サクラマチバスターミナルコンコースと『市役所ひろば』、2階を接続し市民のアクセス、利便性を向上

2 3 4 5 花畑広場と一体で利用できる『市役所ひろば』
- 花畑広場にない屋根のある市民活動広場
- 災害時には一時避難、支援物資の受入、罹災証明書発行のスペース
- 図書や飲食、コンビニなどの利便施設が市民活動をサポート
- 地域企業や商店街が情報発信できる『コンソーシアムスペース』

4 交通への影響を最小限にする駐車場計画
- 交通量調査に基づいた駐車場の出入口の位置検討
- 辛島公園地下駐車場への接続を検討

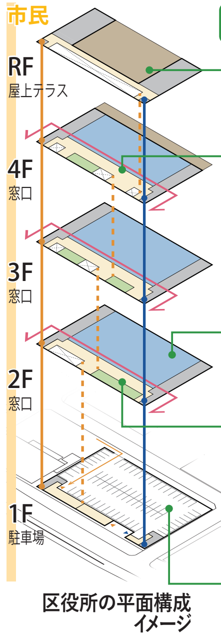


本庁舎の平面構成イメージ



本庁舎の断面構成イメージ

中央区役所の考え方



区役所の平面構成イメージ

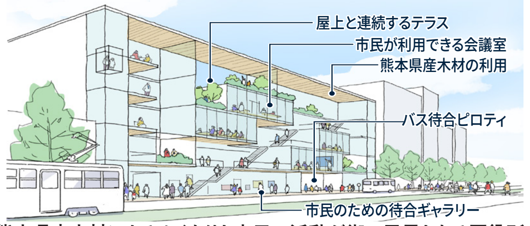
熊本城を望む『展望テラス』 2 3
- 熊本城を望む市民の憩い場として屋上を市民に開放

市民のための『区役所テラス』 2 4
- 電車通り側のゾーン、会議室を『区役所テラス』として市民に開放
- 休日も夜間も開放できる明確な管理区画

大きな1フロアの執務スペース 4 5
- 多様な働き方やレイアウト変更が容易な執務スペース

市民窓口を集約配置 3 4 5
- 区民に分かりやすく窓口を集約化
- 水害のおそれのない2階に窓口を設置検討
- DX化に対応するフレキシブルな窓口

駐車場をコンパクトに集約 3 4 6
- 市民が利用しやすい平面駐車場
- 建物のわかりやすい構成と動線の実現



熊本県産木材によるぬくもりと市民の活動が街の風景となる区役所

【テーマ2】 あらゆる災害に対応できる庁舎

災害時の低層部利用イメージ

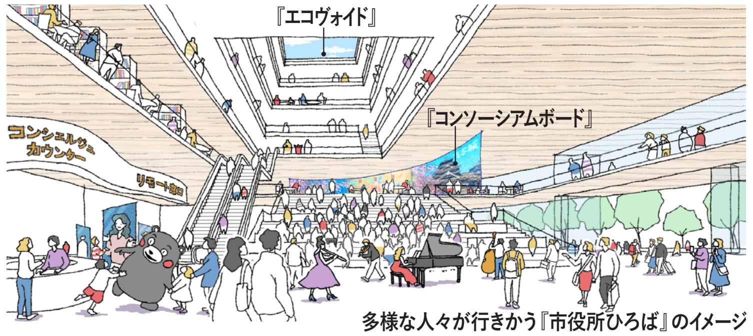
1.「地域防災計画」「業務継続計画」「受援計画」「エリア防災計画」を確実に実践する熊本式ノンダウン庁舎を検討します

- 予防から復旧・復興までのフェーズごとに必要な災害対策を整理し、整備方針を決定します。
- 災害リスクに備えた、安全で費用対効果の高い予防対策を講じます。
- 確実に災害対策拠点機能を維持するノンダウン庁舎を検討します。
- 様々な受援を受け入れ、エリアの防災力を高めるパブリックスペースを計画します。

2. 独立性と拡張性のある災害対策拠点と様々な支援活動ができるパブリックスペース『市役所ひろば』を検討します

- 防災拠点の司令塔となる災害対策本部の高いセキュリティの維持を検討します。
- 日常の設えが災害対策拠点に早変わりするフェイズフリー庁舎を目指します。
- 災害規模、フェイズに対応する、可変性のある災害対策本部を計画します。
- 様々な災害支援スペースとなる『市役所ひろば』を検討します。
- 内部組織と外部支援組織の連携を重視した階構成とゾーニングを行います。
- 防災拠点の与件を確実に整理する『防災分科会』を立ち上げ、熊本市ならではの防災拠点のあり方』の方針を整理します。

【テーマ3】 市民が利用しやすく、質の高い行政サービスが提供できる庁舎

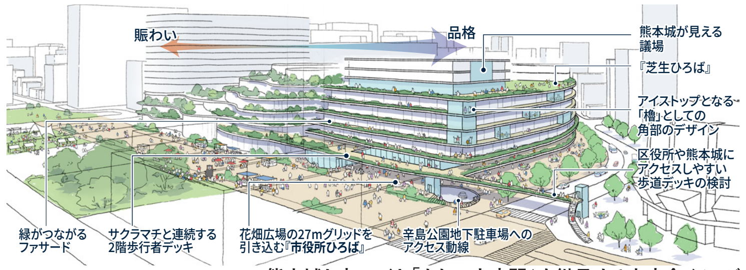


多様な人々が行きかう『市役所ひろば』のイメージ

1. 多様な来庁者の新たな交流と体験を生み出し、職員が誇りをもって働ける市庁舎・区役所を目指します

- 市庁舎は、市民のための『市役所ひろば』と執務・議会ゾーン、区役所は、窓口を持つ執務ゾーンとして、役割を明確にします。
- 時代の変化と共に多様化する行政サービスや職員の働き方改革、業務効率化を背景に、窓口や執務スペースのみならず庁舎のあり方が大きく変化していくと考えられます。その実現のためにDXを有効に活用できる市庁舎・区役所のあり方を検討します。
- 市民・職員だけでなく多様な人々が出会い、新たな発見を体験する場をつくり、地域産業の活性化や新たな活動を育む、市民・職員の誇りとなる庁舎をつくります。またそれにより、将来の熊本市を担う人材確保につなげます。

【テーマ4】 まちの賑わいに貢献し、まちづくりの核となる庁舎



熊本城と庭つづき「まちの大広間」を継承する本庁舎イメージ

1. 市民に開かれたまちづくりの拠点・まちと連続したアクティビティを誘発する『まちなか庁舎』を目指します

- 市庁舎と区役所それぞれの立地特性を活かし、市民や来街者等に対して、各々の役割を備えたまちづくりの拠点となるよう計画します。
- 市庁舎と区役所を一体的に検討・デザインすることで、様々なアクティビティを誘発し、人々が思い思いに過ごすことのできる、活気あふれる庁舎を目指します。

2. 熊本城と庭つづき「まちの大広間」を継承し、まちの歴史・賑わい・緑を感じる『まちなか庁舎』を検討します

- 熊本城への眺望を大切にした庁舎を目指します。
- まちなみとの調和と、賑わいと品格を具現化歴史を継承し未来につなぐ熊本らしいデザインを追求します。
- 熊本城への複数の視点場を決め、3DやVRによりボリュームを検証します。

【テーマ3】 市民が利用しやすく、質の高い行政サービスが提供できる庁舎

1. 新庁舎整備を契機に、まちなかでの公共交通利用促進・交通円滑化等を先導します

過度な台数整備を避ける駐車場計画を検討します
- 適正な将来駐車台数を検証・設定します。
- 周辺既存駐車場の活用・連携を検討します。

公共交通の円滑化・利便性を最優先にした車両動線を検討します
- 公共交通軸への自動車負荷の低減方法を検討します。
- 経験を活かした効率的・実効的な検討を進めます。

まちなかの魅力や回遊性向上に資する交通施策を検討します
- ウォーカブル施策に貢献する熊本高森線改良も視野に入れた交通計画検討します。
- 公共交通利用推進方策を新庁舎周辺で先導実施し、啓発につなげます。

【テーマ5】 新庁舎整備に向けたコストマネジメントの考え方

1. 建築・防災・環境のバランスをはかる、最適なコストマネジメントを実践します

物価上昇下におけるコスト抑制を実現する5つのポイント		
Point1	コンパクト	庁舎建築として必要最小限の建築・構造・設備計画
Point2	DX	DX/ICT活用による必要十分かつ適正面積の庁舎
Point3	防災	安全性が高く、費用対効果が高い構造計画
Point4	環境	ZEBと執務効率・快適性向上の両立
Point5	LCC	ランニングコストの最小化と最適な維持管理

- 基本計画で3段階の超概算を行い、コストと連動しながら費用対効果の高い設計与件を選択します。基本・実施設計段階でコスト比較ができるようにします。